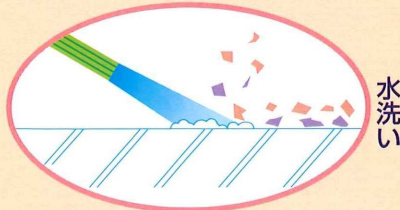
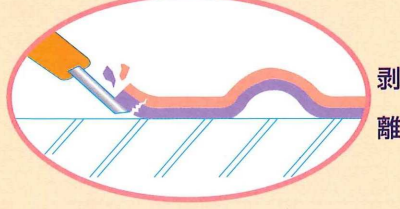
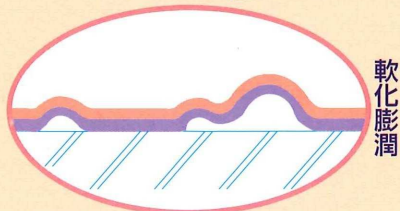


● 塗膜剥離剤(建築用)

スズカリムーバー

建築物、鉄骨構造物などには、各種の吹付材や塗料が多く採用されています。この塗膜も長い間には、美観を損ない、劣化を生じますので、塗り替えが必要になります。スズカリムーバーは、このような建築物、鉄骨構造物などに塗装された、旧塗膜を容易に、かつ効果的に除去する剥離剤です。



リムーバーが残っていると塗料の付着性を阻害しますので必ず水洗いで完全に除去してください。

特長

- 強力な剥離性能がありますので作業性、経済性に優れます。
- 溶剤の蒸発量を少なくした独特の剥離機能でその効果を持続します。
- 垂直面でもたれが少なく作業性に優れています。

性状

外観	淡いブルーの粘性液体
密度	1.26~1.30
pH	中性
沸点	39.8℃
蒸気密度	2.93 (g/L)
燃焼性	なし
環境や人体への影響	塩素系溶剤が主体 多少麻醉性あり

(注) 塩素系有機溶剤を含有しています。麻醉性が強く、許容濃度は50ppmです。揮発性が高く、蒸気は空気より重いので、低いところに滞留しやすいですから注意が必要です。

法的規制…………… 第二種有機溶剤含有物
屋内使用の場合は、有機溶剤中毒予防規制に定められた作業環境を保持する必要があります。

(注2) 反応硬化形塗膜の場合は、予め剥離効果をご確認ください。

用途

一般塗料、薄付け仕上塗材(リシン、スキンなど)
複層仕上塗材(吹付タイル、弾性タイルなど)
防水材などの塗膜の剥離
・セメント系無機質類には効力がありません。

(注2) 本品で塗膜を剥離した面は、強度不足が懸念されますので、磁器タイルの施工は避けてください。

使用方法

1 剥離確認試験 (必ず行ってください)

- ・スズカリムバーを剥離対象塗膜に塗布し、軟化・膨潤の可否、塗付量・塗付回数・放置時間などを確認、決定してください。(塗膜の種類・膜厚、気温などにより異なります)
- ・標準的な塗付量は、0.7kg/m²を目安としてください。
- ・剥離までの放置時間の目安は

一般塗料(合成樹脂系・油性系)	3~25分
樹脂リシン・スキン	5~15分
吹付タイル・弾性タイル	5~30分

2 養生

- ・塗膜以外の箇所(開口部、建具廻り、ゴム・プラスチック製部品など)は、養生シート(ポリエチレンシート)・テープなどで養生してください。スズカリムバーは、ポリエチレン・ポリプロピレン以外の高分子材料は侵しますのでご注意ください。
- ・風によりスズカリムバーが飛散しないように防止処理(シート養生など)をしてください。

3 剥離作業

下記の取扱い上の注意事項を厳守し、作業してください。

- ・スズカリムバーは、はけまたはローラーで塗膜に塗布してください。エアースプレー、エアレススプレーでの塗り付けは絶対にしないでください。
- ・確認した放置時間経過後、軟化・膨潤した塗膜をケレン棒・スクレパー・皮すき・ワイヤーブラシなどを用いて完全に除去してください。放置時間が長すぎるとスズカリムバーが蒸発し、再び塗膜が硬くなり、剥離が困難になりますので注意してください。
- ・剥離後は、直ちに高圧水洗、ワイヤーブラシなどで、残存したスズカリムバーを完全に除去してください。スズカリムバーには、ワックス類が含まれています、このワックス類が残っていると、仕上塗料のハジキ・付着不良などの原因になります。
- ・下記の場所は作業を中止してください。
 - ・気温が35℃以上の場合
 - ・降雨・降雪時、またその恐れがある場合
 - ・強風の場合、塗膜が濡れている場合など

4 仕上塗料 確認試験 (必ず行ってください)

- ・予め仕上塗料を塗装し、仕上りに異常がないか、また付着試験を行い確認してください。

取扱い上の注意事項

有害性あり	腐食性あり	警告	業務用
		1.キャップ開放時、ガスが噴出する恐れがある。 2.急性毒性、皮膚腐食性、有害性がある。 3.環境に対し有害な物質を含んでいる。	

- 《注意事項》 1. 皮膚に付着すると薬傷を起こしたり、蒸気を吸い込むと急性有機溶剤中毒など、健康障害を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。
2. 本来の用途以外に使用しないでください。

《取扱い上の注意》

1. キャップを取るとき、缶内にたまった溶剤の蒸気圧で蒸気が噴き出すことがあります。顔を開口部に近づけないように、ウェスで覆いをし、ゆっくりとキャップを開け、ガスを抜いてください。
2. 本品の溶剤蒸気は空気より重いため、下方に移動していき、換気の悪い箇所では滞留します。
下方にいる人へ事前に溶剤取扱い中であることを連絡、通知並びに表示をするようにしてください。また蒸気を吸い込まないようにする、火気の使用を避けるなどの注意を居住者に喚起してください。
3. 取扱い場所は換気を良くし、居所排気装置を設けてください。溶剤蒸気が滞留しやすい、室内、階段室、踊り場、バルコニー、養生ネット内などは、局所排気装置を設けると共に換気に十分注意してください。
4. 溶剤蒸気の居室内への侵入を防ぐため、居住者の了解を得た上で、ドア、窓などの開口部に目張りなどをしてください。溶剤蒸気の濃度が高くなりますと、家庭用のガス検知器や火災報知器が作動することがあります。
5. 取扱い中は、直接皮膚に触れないようにし、保護眼鏡(ゴーグル)・保護マスク(防毒マスク)・化学品の浸透しない手袋・エプロンなどを着用してください。
6. 容器からこぼれたり、漏れ出した場合は、ウェス・おがくずなどに吸収させて回収し、密閉保管し、関係法規に基づいて廃棄物処理をしてください。
7. 作業衣などに付着した場合は、その汚れを十分に落としてください。
8. 環境に対しての直接放出や、廃棄は有害な影響を及ぼします。
剥離作業により生じた塗膜片やゲル状物は溶剤を多く含むしますので、速やかにビニール袋または金属容器に入れ溶剤蒸気が拡散しないよう密閉してください。処理物はその日に持ち帰り、関係法規に準じて廃棄物処理をしてください。
9. 取扱い後は、手洗・洗顔・うがいを十分に行ってください。

《救急時の処置》

1. 目に入った場合は、清水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着した場合は、多量の清水を用いて、皮膚用石鹼で十分に洗い落としてください。痛みが続いたり、皮膚外観に変化がある場合は、医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所に移動して、安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 誤って飲みこんだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

《保管時の注意》

1. 保管時は確実にキャップをして、幼児や子供の手が届かない冷暗所に保管してください。
2. 一時放置でも、直射日光を避け、日かげに置いてください。
3. 特に夏期や炎天下での駐車中や運転中の車内温度は、35℃以上になる場合がありますので、保管や取扱いには十分に注意してください。

《廃棄時の注意》

1. 中身を使いきってから廃棄してください。
2. 廃液・剥離かす・容器などの廃棄処分をするときは、専門の有資格業者に委託してください。
3. 水洗液は水質汚濁防止法、下水道法の規制に抵触する場合があります。

《容器の取扱い》

1. 容器を転倒させず、落下させず、衝撃を加えず、または引きずらずなど、粗暴な行ないをしないでください。
 2. 手環やバンドを用いて、高所への吊り上げ作業などは行わないでください。
 3. 容器を手で持つ場合は、垂直に持ち上げて取扱ってください。
- ※詳しい内容が必要な場合は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

荷姿・・・16kg



営業本部 〒510-0101 三重県三重郡桶町小倉1058-4 ☎0593-97-6190 FAX0593-97-6191
技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎0593-46-1116 FAX0593-46-4585

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。